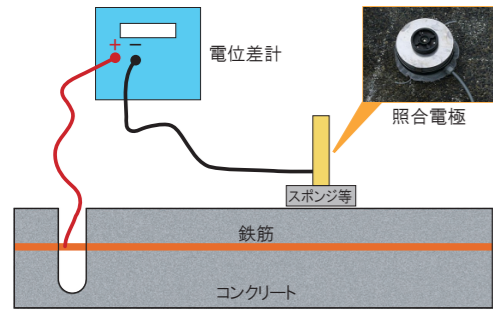
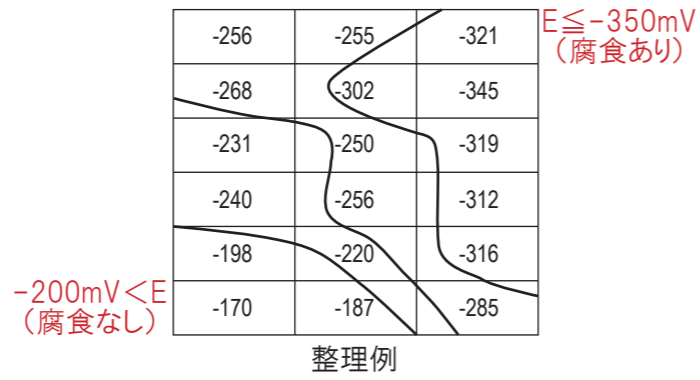


⑥鉄筋の腐食調査

鉄筋の腐食状況、腐食速度をコンクリートの外面から調査し、健全性を把握します。非破壊調査には自然電位調査や分極抵抗調査などがあります。

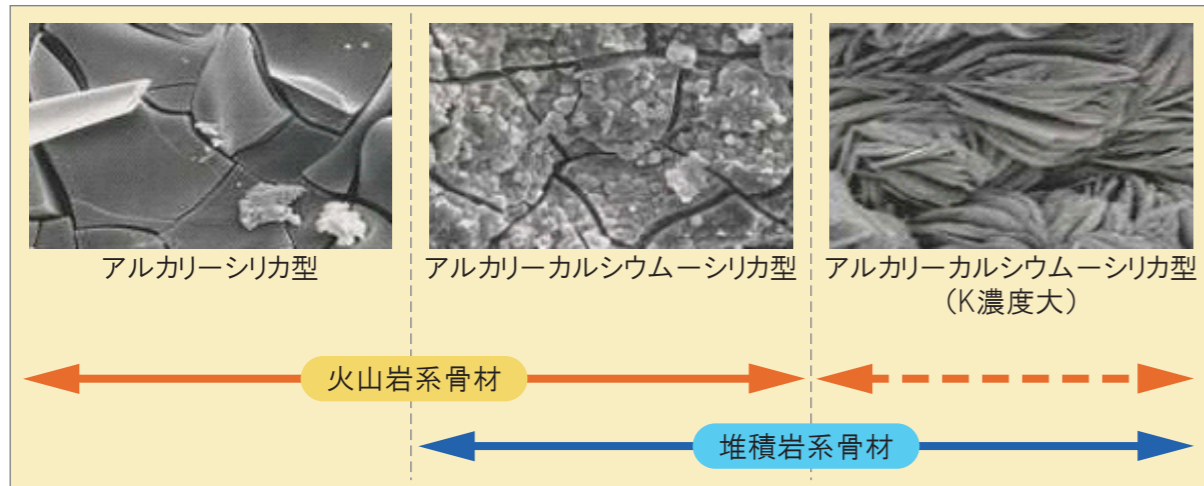


鉄筋が腐食することで鉄筋から鉄イオンが溶け出し、電流が流れやすくなることを利用



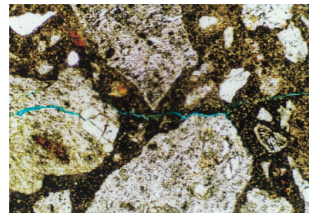
⑦反応生成物（ゲル）分析

コンクリートに析出した生成物の電子顕微鏡観察および組成分析を行い、アルカリ骨材反応進行の有無を判断します。



⑧偏光顕微鏡観察

岩石鑑定および組織状況からアルカリ骨材反応の進行を評価します。



⑨促進膨張試験

アルカリ骨材反応による今後の劣化進行の可能性を評価します。



コンクリート構造物の劣化診断

Degradation Diagnosis of Concrete Structures

総合診断による健全度評価

お問い合わせは

YON-C
株式会社 四電技術コンサルタント

土木技術部
〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼1007-3
TEL(087)887-2280 FAX(087)887-2265

YON-C
株式会社 四電技術コンサルタント

様々な局面でコンクリート構造物施設管理をトータルサポート

社会資本の礎を支えてきたコンクリート構造物は、経年の様々な要因により劣化が生じます。

当社では、これまでに培った様々な経験と技術に基づき、コンクリート構造物の劣化診断における調査・試験・評価に始まり、劣化予測・設備点検・台帳管理・管理計画策定に至る施設管理まで柔軟に対応いたします。

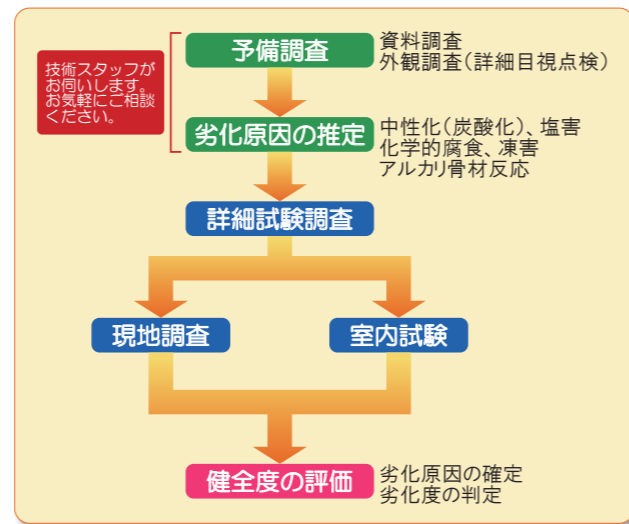
地域における社会資本のドクターとして、コンクリート構造物施設管理をトータルサポートいたします。

「予備調査」、「劣化原因の推定」はお気軽にご相談ください

お困り、ご心配のコンクリート構造物はございませんか？

「予備調査」、「劣化原因の推定」については、技術者スタッフが伺いますので、お気軽にご相談ください。

当社では、各種計測機器を保有しており、調査～試験～評価に至る一連の工程を一貫して行うため、信頼性をお約束いたします。



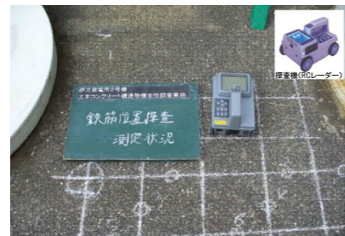
コンクリート構造物における劣化の種類

- 鉄筋腐食**
 - 中性化(炭酸化)
 - 塩害
- コンクリート劣化**
 - 化学的腐食
 - 凍害
 - アルカリ骨材反応

主な診断項目

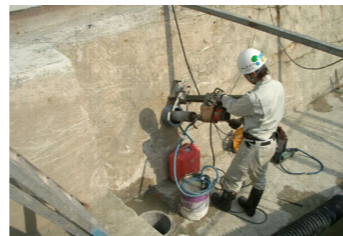
①鉄筋探査

コンクリートコア採取の前に配筋状態やかぶり深さを電磁波探査機により調査します。



②コンクリートコア採取

各種診断のために、コンクリートコアを採取します。



③コンクリートの強度測定

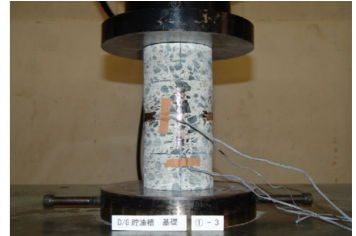
1)反発度測定

テストハンマーでコンクリート表面を打撃し、その反発度から圧縮強度を推定します。



2)強度試験

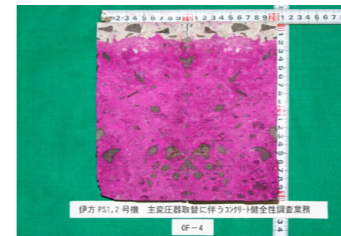
コンクリートの基本性能である圧縮強度を試験します。



④コンクリートの中性化診断

1)コア割裂面の変色

コア採取割裂面にフェノールフタレインを噴霧し、赤紫色の変色箇所までの深さを測定します。



2)ドリル削孔、粉の変色

フェノールフタレインを噴霧したろ紙にドリル削孔粉を落とし、変色し始める深さを測定します。



⑤コンクリート内の塩分濃度分析

塩分濃度分析は全て自社内で行い、鉄筋付近が腐食発生限界濃度にあるか否かを把握して、将来の塩分浸透を予測します。

